

日本の生ごみ焼却は世界の非常識(生ごみを焼却処理しているのは日本だけといわれています！)

生ごみのリサイクル、考えてみませんか。生ごみの焼却費を別のことに使えます！

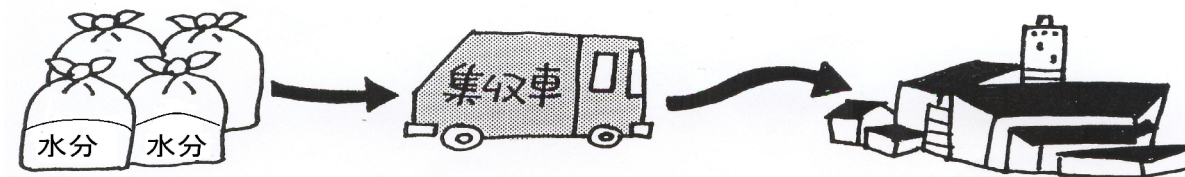
- ◎ 嵐山町のごみは小川地区衛生組合（嵐山町・小川町・滑川町・ときがわ町・東秩父村）で処理しています。
- ◎ 小川地区衛生組合の焼却炉は33年経過し老朽化して、終末期です。
- ◎ ごみ焼却処理は海外では、化学物質の飛翔による健康被害が実証され、少なくなっています。
- 日本では、ごみ焼却処理はダイオキシンの問題さえクリアされれば問題なしとし、大型焼却炉建設方向です。
- ◎ 焼却ごみに占める生ごみの割合は重さでは50%と報告されています。(日本環境研究センター1998年)
- 生ごみの80~90%は水分ですから、小川地区衛生組合では水を蒸発させるためにエネルギーを消費しています。

◎ H20年度の嵐山町の小川地区衛生組合ごみ処理の負担金は 1億6019万円でした。

- 嵐山町の焼却ごみは、家庭ごみは3120ト、事業系1465ト、そのうち家庭ごみの50%を生ごみとすると生ごみは1560ト(=3120ト×50%)、生ごみの水分を80%とすると生ごみを燃えるようにするには含水率を60%にしなければなりません。「含水量/(可燃物+含水量)=0.6」で計算すると水分を468トまで減らす必要がありました。そのため780トの水を蒸発させなければなりませんでした。

生ごみを焼却しなければ無駄なエネルギーは必要ありません。処理費を減額できます。

生ごみを自家処理して堆肥にする・生ごみだけを集めて堆肥にする・方法はいろいろ。韓国では生ごみを分別収集しています。



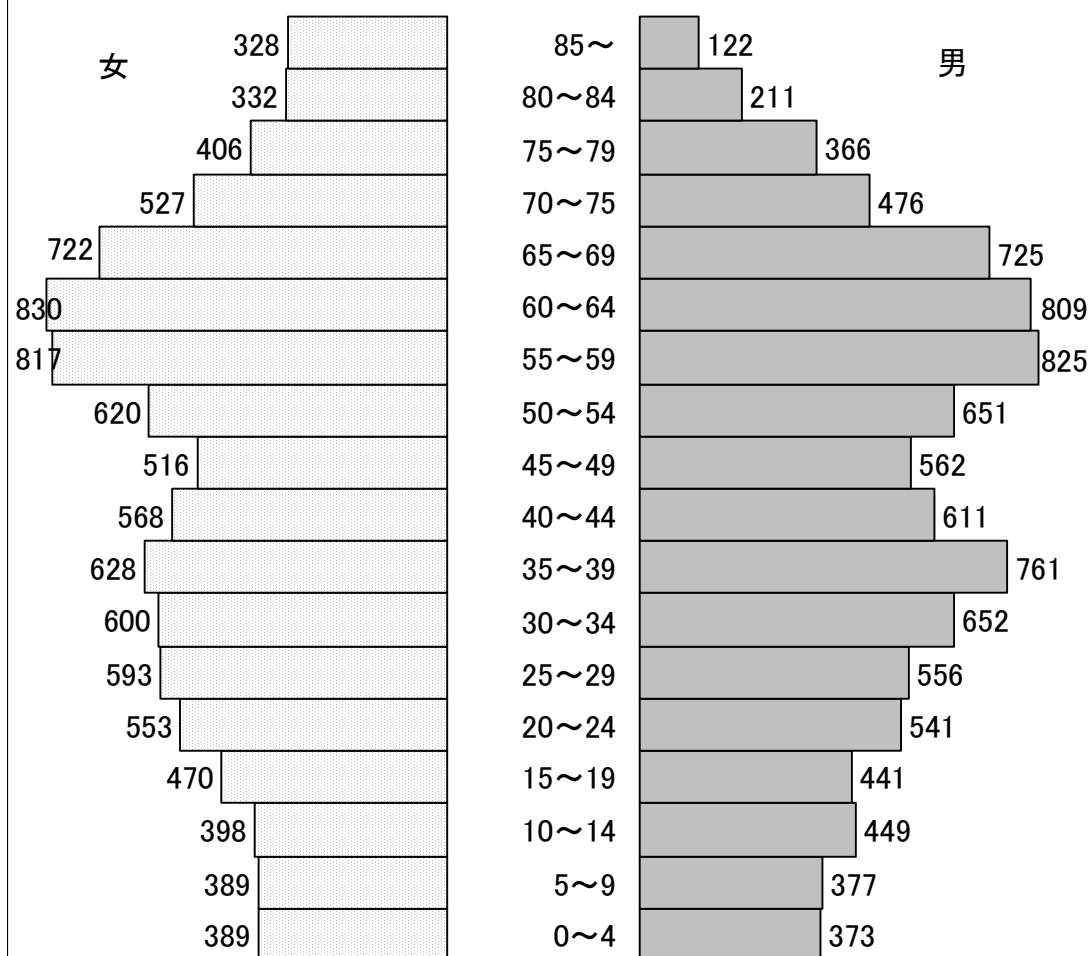
- ★にんじんの水分は90%です。写真の左のにんじんは普段料理に使うにんじん100gです。
- ★右のにんじんは水分を75グラムを蒸発させて60%にしたものです。水分を60%まで減らさないのにんじんは燃えません。生ごみを焼却することは、水を蒸発させることです。
- ★1℃の1gの水を100度にするのに、100cal。さらに蒸発させるには、540calが必要です。常温の水1gを蒸発させるには600calが必要
- ✳ にんじん100グラムを燃えるようにするために水分75g減らすには75g×600cal=45000cal 必要です



左 右
左のにんじんは燃えません。右は燃えるように水分を60%減らしたにんじんです。

無駄なエネルギーを消費しています。

嵐山町の年齢別人口(09, 4, 1)



左のグラフは、現在の嵐山町の現在の人口構成です。皆さんは嵐山町にどんな政策が必要だと考えますか。

現在、55才~65才・35才~39才の二つのピーク以後、減少です。10年後、65才~75才、45才~49才の山になり、45才から逆三角形。

20年後、55才~59才がピークになり、55才から逆三角形で、20才以下は、政策次第で逆三角形がゆるやか・急・止まる。

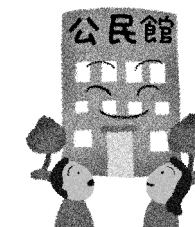
- 晩婚化で20代の女性の出産が減少、30代の子供が増えました。
- 内閣府の世論調査では晩婚化・非婚化の理由の最も多いのは経済的負担だということです。子どもの将来の教育にお金がかかるのが、子育てを辛いと考える理由のうち最も多いものです。(一方で20代前半のおかあさんと子どもだけの生活も増えています。)

- 人口減少で、超高齢化社会でも、幸福な人生を送るためには高齢の人も無理なく働らせて、社会活動できる環境。女性も男性も仕事と家庭を両立でき、バランスよい生活条件。若い人はアルバイトやパートではない正規労働者としての就労。

そのために必要なことは・・・安心して暮らせる生活保障

- ・ こどもについては 保育園・学童保育の充実・教育費の無料化・学校外活動の充実・出産・育児にかかる費用の軽減。
- ・ 働き盛りには、男女共に仕事と生活のバランスがとれること。
- ・ 高齢の人には、健康維持、病気になっても孤独死しない環境。
- 将来世代を借金の返済で苦しめないように、町づくりの工夫で土木開発・建設事業の借財を抑える必要があります。

公民館はどうなるの？



★仮称ふれあい交流センターに

現在勤労福祉会館は2階建て
1階部分は駐車場です。
1階の駐車場を囲い建物にし調理室や小会議室を増設。

そして、勤労福祉会館が、仮称ふれあい交流センターとして、新しくなり、公民館ともなります。

今、公民館の利用は活発です。生涯学習の時代です。多くの皆さんが利用できる施設にしてほしいですね。現公民館と菅谷出張所はなくなり、駐車場予定です。

★おもちゃ図書館は

勤労福祉会館の奥まった場所にあるおもちゃ図書館はどこにいくのでしょうか。

元菅谷幼稚園を利用させていただけるのなら、園庭もあるので外でも遊べます。児童館を兼ねた小さい子ども集まれる子どもセンターにしてほしいですね。

★商工会・シルバー人材センター・社会福祉協議会は

それぞれの団体とも財政的に自立が難しいので、仮称ふれあい交流センターに同居ということも考えられています。狭くなるので、各団体と住民が利用しやすい施設に移転したほうが合理的だと思うのですが。

★仮称ふれあい交流センター設計案が公表されます。

皆さん、町にどんどん意見を出してください